

「科学雑誌で学ぶ日本語Ⅱ」作文練習 15

木下大輔

2022年06月01日

1 第一問

「“世界一よく切れる”と称されることもある日本刀は、洗練されたその姿で美術品としても多くの人々を魅了する。」という文がありました。「…こともある…」を含む文を作りなさい。

2 第二問

「作業は休むことなくつづけられ、三晩目が明けるころによやく終わりをむかえる」という文がありました。「…動詞 + ことなく…」を含む文を作りなさい。

3 第三問

「鉄鉱石があまりとれず、砂鉄を原料としたことが、図らずも日本刀の性能を大きく向上させているのだ。」という文がありました。「…図らずも…」を含む文を作りなさい。

4 第四問

「玉鋼として日本刀に使用できるのは鋸全体の3分の1程度といわれており、上質の玉鋼となるとこれよりもさらに少なくなる。」という文がありました。「…さらに…」(更に)を含む文を作りなさい。

5 第五問

「積み沸かしを経て材料となる玉鋼の準備は整い、いよいよ作刀へと進んでいく。」という文がありました。「…いよいよ…」を含む文を作りなさい。

6 第六問

「焼入れ後、刀匠みずからが粗い砥石で研ぐことで刀の形状を整えつつ状態を確認し、そこからは研ぎ師の手にゆだねられる。」という文がありました。「…動詞 + つつ…」を含む文を作りなさい。

7 第七問

「研ぎ師は何種類もの砥石を用い、下地研ぎでは刀全体を研ぎながら全体の形状や表面を整え、仕上げ研ぎでは全体をさらに磨き上げ、刃文が白く美しく際立つように研いでいく。」という文がありました。「…動詞 + ながら…」を含む文を作りなさい。